



資源としての森林活用 ～3.11後の社会へ

木のある暮らしとは・・・

これから、私たちは森林資源をどう活かして、どんな暮らし方をするのか。木材としての森林、バイオマスとしての森林、癒し安らぎの場としての森林・・・

持続可能な社会の基盤となりうる資源を豊富に有している森林の活用について、全国に先駆けて戦後の植林を進め、充実した森林資源の利用拡大を推進している静岡で考える。

日時 平成23年10月29日(土)13時開会(12時30分開場)

※16時30分閉会予定

会場 小笠山総合運動公園「エコパサブアリーナ」

静岡県袋井市愛野 2300-1

定員 500名(事前申し込み制・先着順)

内容 詳しくは裏面をご覧ください。

入場無料



親子で
体験!

木とのふれあい広場

- ・親子でつくる木工体験
- ・探検しよう!小笠山
- ・「地産地消」が一番!
- 木製品販売、ご当地グルメ

秋の森づくり県民大作戦

同日
開催

◆◆◆お申し込み・お問合せ◆◆◆

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号

第36回全国育樹祭静岡県実行委員会事務局(県全国育樹祭推進課)

電話:054-221-2628 FAX:054-221-2740

E-Mail: ikujusai@pref.shizuoka.lg.jp

第36回全国育樹祭

検索



第一部 基調講演

国民参加の森林づくりシンポジウム



「復興と森林～森から始める日本再生」

＜講師＞養老孟司（東京大学名誉教授）

1937 年神奈川県生まれ。東京大学医学部教授、北里大学教授を務めた。
2003 年『バカの壁』が大ベストセラーに。脳の仕組みと社会のかかわりについて発言を続け、環境や森林・林業の問題にも言及。「日本に健全な森をつくり直す委員会」委員長、国土交通省の「“木の家づくり” から日本の林業再生を考える委員会」委員長として提言もしている。

第二部 基調報告・パネルディスカッション

「森林ビジネスとは生き物を知ること」

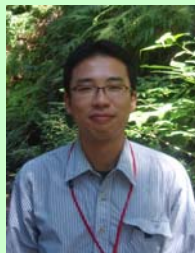
＜報告者＞速水 亨（日本林業経営者協会会長）



尾鷲ヒノキの産地で江戸時代から続く「速水林業」の九代目。慶応大学法学部卒業後、東京大学農学部研究生を経て家業に従事。
2000 年、日本で初めて国際組織・森林管理協議会（FSC）から環境に配慮した森林に認証された。
2004 年設立のコンサルタント会社林業再生システム（東京）社長も務める。

「森林・林業再生と森林バイオマスの未来」

＜報告者＞相川高信（三菱UFJリサーチ&コンサルティング副主任研究員）



京都大学大学院修了（森林生態学専攻）。農林水産省のバイオマス活用推進専門家会議委員、林野庁の森林・林業再生プラン人材育成検討委員会委員などを歴任。
日本の森林を育てる薪炭利用キャンペーン実行委員も務めた。
静岡県森林整備加速化・林業再生事業推進協議会で効率的な木材生産システムの構築に向けたアドバイスを行う。

「森へ行こう！」

＜報告者＞白井貴子（シンガー・ソングライター）



1984 年「Chance！」のヒットで女性ポップロックシンガーの先駆的存在に。1996 年から 3 年間、NHK「ひるどき日本列島」に出演。
伊豆に 3 千坪の森を購入、時間の許す限り森で過ごす生活を始めて 10 年以上になる。かながわ環境大使。昨年の全国植樹祭でテーマソング「森へ行こう！」を手がけた。

「木材を使うということ」

＜報告者＞有馬孝礼（木のまち・木のいえ推進フォーラム代表）



東京大学大学院修了（林産学専攻）後、東京大学文部教官助手、建設省建築研究所研究員、静岡大学助教授、東京大学大学院農学生命科学研究科教授などを歴任。
今年 3 月まで宮崎県木材利用技術センター所長を務めた。
東京大学名誉教授。
著書に『循環型社会と木材』『なぜ、いま木の建築なのか』

＜コーディネーター＞伊藤智章（朝日新聞前論説委員）

＜シンポジウムへの参加について＞

※シンポジウムへの参加には、入場整理券が必要です。

事前にお申し込みください。参加料は無料です。

●申し込み方法

参加を希望される方は、下記申込書に必要事項を記入し、郵送又はFAXでお申し込みください。ハガキ又はホームページでもお申し込みいただけます。（先着順。定員の 500 名になりしだい、締切といたします。）

●入場整理券の発送

申し込みを受け付けた方には、10 月中旬頃までに入場整理券をお送りします。当日は、必ず入場整理券を持参してください。

◆◆◆会場案内図◆◆◆



◆シンポジウム参加申込書◆（FAX:054-221-2740）

ふりがな 氏名		年齢	
住所	〒		
電話		参加希望人数	

※この申し込みにより収集する個人情報については、シンポジウム整理券の発送及び第 36 回全国育樹祭に関する事にのみ使用します。（法令等により開示を求められた場合はこの限りではありません。）

＜郵送先＞〒420-8601 静岡市葵区追手町 9-6 第 36 回全国育樹祭静岡県実行委員会事務局

